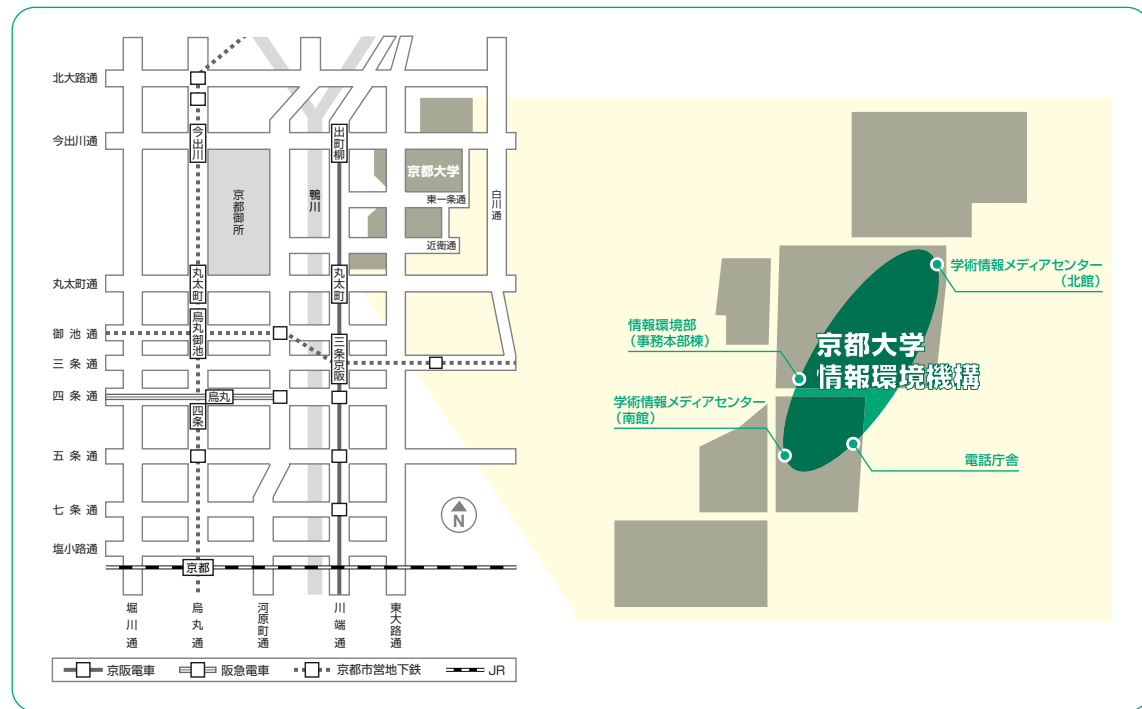




京都大学 情報環境機構

Institute for
Information Management
and Communication
Kyoto University

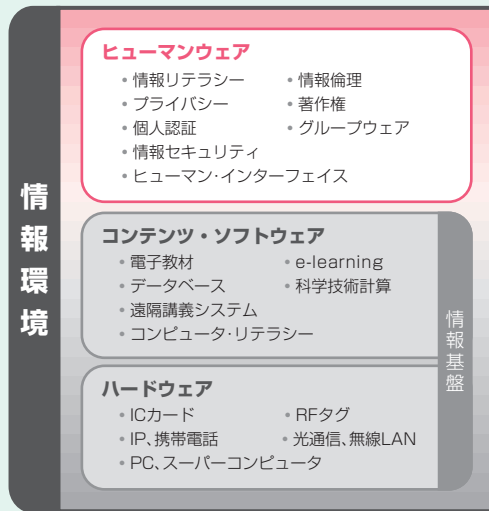
京都大学情報環境機構 (IIMC)

発行 2006年10月1日

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学情報環境部 情報企画課
TEL 075-753-7400 / FAX 075-753-7450 / URL <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

Dr. Tetsuya Kato is a middle-aged man with short, dark hair, smiling. He is wearing a dark blue suit jacket over a white shirt and a blue patterned tie.

情報環境はそこで活動する人々の思いや考え方を反映したものであり、その在り方は時とともに常に変化しなければなりません。このため情報環境機構は、組織的にも業務的にも完結したものとするのではなく、継続的な評価・点検を行いながら自らを自律的に発展させていく必要があり、そのためのエネルギーの源として皆様からのご支援、ご鞭撻を切にお願いする次第です。



「情報環境」とは……ハードウェア、ソフトウェアによって構成される「情報基盤」の上に、多様な情報システムとそれらを利用する人間・組織とが一体となった「ヒューマンウェア」を構築したもの

機構業務を情報環境部が、研究開発・業務支援を
学術情報メディアセンターが担当します。

- ・ 全学の情報基盤に関する企画、整備、管理及び運用
- ・ 情報基盤に基づく多様な利用サービスの提供
- ・ 高度かつ安全な情報環境の構築及び提供
- ・ 高度な情報技術、情報活用能力を備えた人材の育成

情報環境整備委員会

… 全学情報基盤の整備等に関する企画・立案

情報環境機構運営委員会

- … 機構業務を遂行する以下の運用委員会を統括する

- ・ KUIINS運用委員会
- ・ KUIINS利用負担金検討委員会
- ・ ネットワーク情報システム運用委員会
- ・ 大型計算機システム運用委員会
- ・ 教育用コンピュータシステム運用委員会
- ・ CALLシステム運用委員会
- ・ メディア運用委員会
- ・ 評価委員会
- ・ 情報セキュリティ委員会
- ・ 広報教育委員会
- ・ ソフトウェアライセンス管理運用委員会

